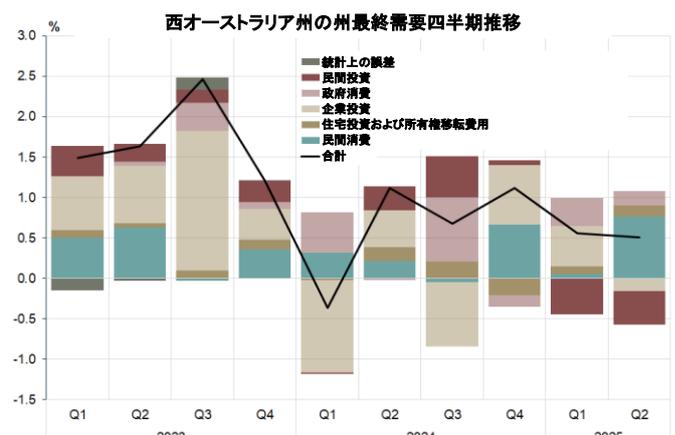
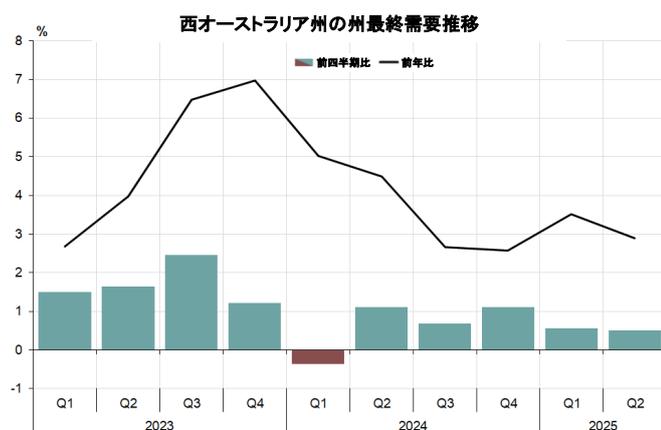


## 西オーストラリア州関連データハイライト

- RBA 金融政策会合は8月に政策金利目標を25 ベーシスポイント下げて3.60%とした。
- 西オーストラリア州の州最終需要は第2 四半期に0.5%増加し、前年同期比2.9%増となった。
- 西オーストラリア州の賃金物価指数は第2 四半期に0.8%上昇し、全州で最も高い前年同期比3.7%上昇となった。
- 西オーストラリア州の雇用者数は7月に2,800人増加し、失業率は4.2%と依然低レベルにあった。
- パースの住宅価格は7月に11.8%増と大きな伸びを見せた住宅用建物建設許可件数を受け、8月に1.1%上昇した。

## 2025年第2 四半期州最終需要

- 西オーストラリア州の州最終需要は第2 四半期に0.5%増加し、前年同期比2.9%増となった。
- 州最終需要の四半期成長に最も貢献したのが民間消費の1.6%増で、州最終需要を0.8パーセントポイント押し上げた。第2 四半期の民間消費成長のほぼ半分を担ったのが、家計が州および連邦のエネルギー料金救済措置の大半を使い尽くしていたことによる電気代自己負担額増の中で50.3%という急増を見せた電気・ガス・その他燃料であった。
- その他の消費支出カテゴリで第2 四半期の民間消費成長に貢献したものはほとんどなかったものの、タバコおよびタバコ製品は民間消費の伸びをわずかに押下げた。
- 第2 四半期の民間投資成長は差異が見られ、住宅投資および所有権移転費用は第2 四半期に2.5%増加して州最終需要を0.1パーセントポイント押し上げたが、企業投資が0.8%減で州最終需要を0.2パーセントポイント押し下げてこれを相殺した。
- 公共分野では、連邦政府支出増(2.6%増)を受けた政府消費が0.9%増加し第2 四半期の州最終需要を0.2パーセントポイント押し上げた。一方、公共投資は7.6%減少し、州最終需要を0.4パーセントポイント押し下げた。
- 民間消費は州最終需要の年間成長率に対する最大の貢献要素でもあり、3.0%増加した第2 四半期には通年成長の半分超を占めた。家賃、そして娯楽および休暇旅行は年間を通して民間消費成長の約3分の1を占める一方、残る約3分の2はそれら以外の支出カテゴリがほぼ均等であった。
- 第2 四半期の州最終需要年間成長で2番目に大きな貢献を見せたのが、前年同期比5.9%増で1.2パーセントポイント押し上げた政府消費であった。これに続いたのが、前年同期比4.4%増で0.2パーセントポイント押し上げた住宅投資および所有権移転費用、前年同期比1.5%増で0.3パーセントポイント押し上げた企業投資であった。公共投資は5.5%減で0.3パーセントポイント押し下げた。



オーストラリア金利(%)			為替と株価		
RBA 政策金利目標	3.60	(↓25 pt)	AUD/USD	0.6540	(↑1.8%)
90日銀行手形	3.57	(↓11 pt)	AUD/JPY	96.19	(↓0.7%)
連邦政府3年国債	3.40	(↓2 pt)			
連邦政府10年国債	4.27	(↑1 pt)	ASX200	8973	(↑230 pt)

## 市場概況

- **RBA 金融政策会合**は8月、予想どおり政策金利目標レンジを25ベースポイント下げて3.60%とし、各種データを参考にしながらのさらなる金融緩和政策を示唆した。さらに25ベースポイントの政策金利引下げが9月に行われる可能性は20%未満で、この動きは11月のマーケット・プライシングで完全に織り込まれている。
- 政策金利引下げを受け、オーストラリア国債利回りは8月にイールドカーブのフロントエンドでわずかに低下した。長期利回りは8月初めに低下したが、世界的市況を一因として月後半に反発した。この反発を主導したと思われるのが欧州で、予算の不確実性から一部の国々で債券利回りの上昇が見られた。
- **豪ドル**は8月に米ドルに対して1.8%上昇した。その米ドルも、米国政府機関の状況およびその財政政策見通し、さらにはFFレート引下げ予想の高まりに関する懸念から下落した。一方、豪ドルは日本円に対して0.7%下落し、8月はG10通貨ラダーのほぼ中間に位置した。
- ASX200は8月に2.6%上昇し、8月21日に過去最高値を記録したのち下落した。これは月次レベルでは4カ月連続の上昇かつ直近3カ月で最も大きな伸びであった。

WATC 指標銘柄債券の利回り				
満期	利回り		AGS スプレッド	
	2025年8月29日		2025年8月29日	
2026年10月21日	3.40	(-)	0 pt	(-)
2027年10月21日	3.42	(↓3 pt)	+8 pt	(↓1 pt)
2028年7月20日	3.55	(↓2 pt)	+18 pt	(↓1 pt)
2029年7月24日	3.72	(-)	+28 pt	(↑3 pt)
2030年10月22日	3.91	(↓1 pt)	+27 pt	(↑2 pt)
2031年10月22日	4.10	(↓1 pt)	+30 pt	(↑3 pt)
2032年7月21日	4.27	(-)	+39 pt	(↑2 pt)
2033年7月20日	4.45	(↑1 pt)	+45 pt	(↑4 pt)
2034年10月24日	4.70	(↑2 pt)	+50 pt	(↑1 pt)
2035年10月24日	4.82	(-)	+50 pt	(↑2 pt)
2041年7月23日	5.28	(↑1 pt)	+68 pt	(↑1 pt)

